

前画面へ戻る

④ 科目名	取材学
④ 科目名(英訳)	Reporting Methods
④ 科目ナンバー	HM313C03
④ 詳細情報	授業外学修時間: 週4時間
④ 担当者 (非)は非常勤講師	三摩 真己
④ 単位数	2
④ 開講学年	2年
④ 開講セメスター	秋期毎週
④ 対象学科 選択・必修	必修: 選択: HM
④ 他学科受講	
④ 履修順序・履修情報	
④ 担当者及び時間割	
④ カリキュラムの中での位置付け ／DP(ディプロマ・ポリシー)	学科専門教育科目の中のメディア情報社会実践科目のうちのキュレーション・スキルズ科目として位置づけられる。キュレーション・スキルズ科目は、メディア情報の収集・蓄積・提供積にかかわるスキルを身につけるための科目群である。本講義は、マス・メディアやジャーナリズムにおける情報収集に欠かせない取材活動について具体的な理論と実践方法を学ぶ科目である。 【ディプロマ・ポリシー(DP)】2024年度入学生以降対象 ②:○ ③:○ ④:◎
④ 身につく基礎力 / 身につく汎用力	／ 自立心 協調性・協働性(公益心) 実行力

④ 授業の主旨 (概要)	5W1Hの確認という情報の基本的要素を学ぶとともに、講師の取材者としての経験から得られた教訓から取材とは何かを解説するとともに、実際に放送原稿を執筆を模擬的に体験する。また、取材された情報の正確性が損なわれた時のメディアが負うダメージについて実例をもとに解説する。 【実務経験のある教員等による授業科目】 実務経験内容: 放送協会で報道職、編成、放送局運営を担当 授業内容との関連性: 自らが記者として経験した事件・事故や社会現象の取材経験を元に取材の在り方や教訓を授業内で説明する。	
④ 具体的 達成目標	不特定多数の読者、視聴者に情報を伝えるとはどういう意味があるのか、また伝えるべき情報とはどういったものなのか、更に正確な情報を収集する困難さと不正確な情報をもたらす混乱がどのようなものかを判断できるようになるとともに、情報収集に必要なコミュニケーション力を身につけることができる。情報の正確性を見抜く傾聴力・受信力を身につけることができる。放送原稿特有なコンパクトなhy峰限を身に着けることができる。	
	1	【内容】 第1回 ガイダンス。静岡駅前ガス爆発事故。記者も巻き込まれた都市災害の問題点を考える。
		【授業外学習】 (事後)千日前火災など都市災害を調査。
	2	【内容】 第2回 伊豆熱川温泉ホテル大東館火災。「細腕繁盛記」の舞台となった老舗旅館で起きた死者24人を出した火災。
		【授業外学習】 (事後)ホテルニュージャパン火災など多数の犠牲者を出したホテル火災を調査。
	3	【内容】 第3回 金嬉老事件とメディア。初めての劇場型犯罪。
		【授業外学習】 (事後)三浦事件、東京埼玉連続幼女誘拐殺人事件など劇場型犯罪を調査。
	4	【内容】 第4回 噂を打ち消す正確な情報。
		【授業外学習】 (事後)熊本地震の際のライオン騒動など不正確な情報をもたらす混乱について調査。
	5	【内容】 第5回 匿名か実名か。報道は匿名であるべきか実名であるべきかを考える。

④ 授業計画		【授業外学習】	(事後)ニュース視聴と実名報道が可能になった特定少年事件について調査
	6	【内容】	第6回 容疑者と呼称。
		【授業外学習】	(事後)タレントなどが容疑者と呼称されなかった事例を調査。
	7	【内容】	第7回 ノーベル賞取材。
		【授業外学習】	(事後)日本人のノーベル賞受賞者とその業績について調査。
	8	【内容】	第8回 冤罪(1)名張毒ぶどう酒事件や障害者郵便制度悪用事件、藤井美濃加茂市長汚職事件など冤罪、或いは冤罪の疑いのある事件を検証する。
		【授業外学習】	(事後)東海地方で起きた冤罪事件について調査。
	9	【内容】	第9回 冤罪(2)再審が始まった袴田事件。何が問題だったのかを見る。
		【授業外学習】	(事後)東海地方で起きた冤罪事件について調査。
	10	【内容】	第10回 冤罪(3)和歌山毒物カレー事件再審請求について
		【授業外学習】	(事後)和歌山毒物カレー事件の調査。
	11	【内容】	冤罪と闘う木谷明弁護士。裁判官時代30件の無罪判決を言い渡し、退官後は弁護士として冤罪事件の支援に尽力した木谷明弁護士について。
		【授業外学習】	恵庭OL殺人事件、大崎事件について調べる。
	12	【内容】	第12回 ニュース原稿執筆。ニュース原稿執筆。ニュースリリースを模した発表文を元に足りない要素を質問し、5W1Hをそろえ、実際にニュース原稿を書いてみる。
		【授業外学習】	テレビニュース視聴。自宅で新聞を購読している学生は当日の朝刊社会面を読むこと。そうでない学生はネットで朝毎読、あるいは中日の社会面生地を読むこと。
	13	【内容】	第13回 ニュース原稿執筆。ニュース原稿執筆。ニュースリリースを模した発表文を元に足りない要素を質問し、5W1Hをそろえ、実際にニュース原稿を書いてみる。
		【授業外学習】	テレビニュース視聴。自宅で新聞を購読している学生は当日の朝刊社会面を読むこと。そうでない学生はネットで朝毎読、あるいは中日の社会面生地を読むこと。
	14	【内容】	第14回 ニュース原稿執筆。ニュース原稿執筆。ニュースリリースを模した発表文を元に足りない要素を質問し、5W1Hをそろえ、実際にニュース原稿を書いてみる。
		【授業外学習】	テレビニュース視聴。自宅で新聞を購読している学生は当日の朝刊社会面を読むこと。そうでない学生はネットで朝毎読、あるいは中日の社会面生地を読むこと。
	15	【内容】	授業の総括。小論文。
		【授業外学習】	
④ 授業方法	過去の事件や事故の映像を視聴しながらの座講。不定期に授業に対する理解度を確認するためキーワードテストを実施する。キーワードテストやキーワードに付随した質問については次週の授業の冒頭で解説する。		
④ 成績の評価方法	最後の授業で執筆する小論文と後半で執筆する放送原稿を重視する。加えてキーワードテスト、授業中の姿勢などを総合的に判断する。		
④ 成績の評価基準	小論文30点。放送原稿30点。キーワードテスト25点。授業中の姿勢25点。90%以上の達成でS評価、80%以上でA評価、70%以上でB評価、60%以上でC評価。		
④ 教科書			
④ 参考文献			
④ 備考	授業で取り上げるべき大きな事件や特徴的な事件が発生した場合には内容を変更することがある。		
④ 関連ホームページ			
④ メールアドレス	三摩 真己 sog0874@fsc.chubu.ac.jp		
④ オフィスアワー			